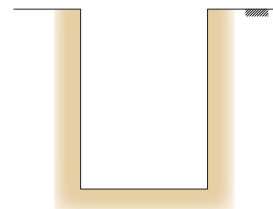


## 施工手順

1

掘削工

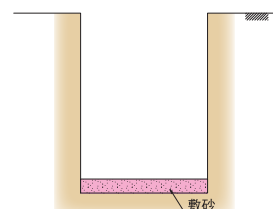
- ①掘削は小型掘削機械により行い、崩壊性の地山の場合は土留工を施します。
- ②掘削機械のバケットのつめ等で掘削の仕上がり面を押し潰した場合はショベルや金ブラシ等で表面を剥ぎ落とし、土砂は排除します。
- ③掘削底面は浸透能力を保持する為、極力足で踏み固めない様に注意します。



2

敷砂工

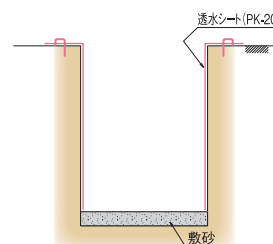
- ①掘削完了後、掘削底面に砂を敷ならします。  
(砂の敷ならしは人力で行います。)
- ②敷砂は足で軽く締め固める程度とし、タンパ等の機械転圧は行わないで下さい。



3

透水シート  
布設工

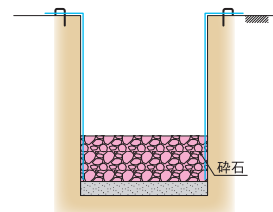
- ①透水シート(PK-200)は土砂の碎石内への流入と地面の陥没を防ぐ為、側面を覆う様に布設します。
- ②透水シート(PK-200)は掘削面よりやや大きめの物を使用し、シートの継ぎ目から土砂が侵入しない様に重ねしろを考慮して下さい。
- ③作業をしやすくする為、透水シート(PK-200)の端部をピン等で固定します。



4

碎石充填工(1)

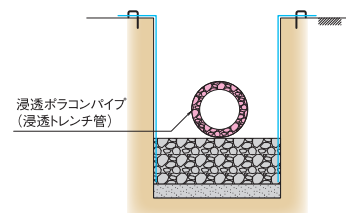
- ①透水シート(PK-200)を引き込まない様に注意しながら碎石を投入して下さい。
- ②碎石の転圧は沈下防止の為にありますが、碎石部分の浸透能力や貯留量に影響する為、転圧は過度な圧がかからない様なプレート転圧を行って下さい。



5

本体据付工

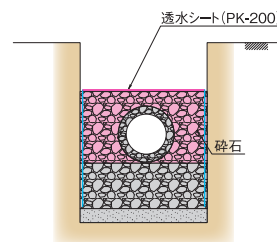
- ①碎石上に浸透ポラコンパイプを据え付けます。
- ②端部のジョイントをしっかりと差込みます。



## 施工手順

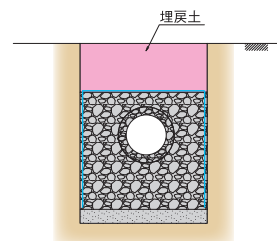
### 6 砕石充填工(2)

- ①浸透ポラコンパイプの側面部に砕石を充填します。  
(その際に浸透ポラコンパイプおよび透水シート(PK-200)がずれないように注意して下さい。)
- ②側面部の砕石上部に透水シート(PK-200)を被せます。



### 7 埋戻し工

- ①埋戻土の転圧はタンパ等で十分に締固めて下さい。
- ②砕石のかみ合わせ等による初期沈下が起こる場合がある為、埋戻し後1~2日は注意して下さい。



8 施工完了 お気づきの点がございましたら、お気軽に当社までご連絡下さい。(HPのお問合せ先にてお受けしております。)

## 施工歩掛

(10mあたり)

製品名	製品質量(kg/本)	世話役(人)	特殊作業員(人)	普通作業員(人)	トラッククレーン(hr)
E-150-L0.6	24	0.3	0.3	0.7	—
E-200-L1	58	0.2	0.1	0.4	2.4
E-300-L1	106	0.2	0.1	0.4	2.4

(注) 1.歩掛は、運搬距離30m程度までの現場内小運搬を含みますが、床掘り、埋戻し、残土処理および砕石層、砂層の材工は含んでおりません。  
 2.諸雑費(コンクリートカッター運転経費、パイプ損失分の費用、カッターブレードの損耗費)は労務費及び機械運転経費の合計に31%を乗じた金額を上限として計上してください。  
 3.透水シートの敷設は普通作業員0.25人/100mを加算願います。